



平成25年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション
コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 久宗 裕行

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成25年3月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第1四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第1四半期	21,044	—	986	—	1,137	—	613	—
24年10月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年10月期第1四半期 616百万円 (—%) 24年10月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第1四半期	29.65	—
24年10月期第1四半期	—	—

(注) 平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年10月期第1四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
25年10月期第1四半期	33,428	—	19,894	—	—	59.5
24年10月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 25年10月期第1四半期 19,894百万円 24年10月期 1百万円

(注) 平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年10月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年10月期	—	—	—	—	—
25年10月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,512	—	1,657	—	1,809	—	865	—	41.84
通期	83,386	—	3,748	—	4,062	—	2,061	—	99.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年10月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期1Q	20,699,800 株	24年10月期	20,699,800 株
25年10月期1Q	26 株	24年10月期	26 株
25年10月期1Q	20,699,774 株	24年10月期1Q	20,699,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年1月31日)におけるわが国経済は、政権交代に伴う経済・金融政策への期待が高まり、為替相場が円安に反転し、日経平均株価も42年ぶりに11週連続上昇するなど企業業績回復への期待感から景況感に改善の兆しがみられました。

外食産業におきましては、周期的に低気圧が通過し、各地に強い寒気をもたらすなどの天候不順に加え、所得環境の悪化にともない消費者マインドは低調なまま推移し、依然として厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは引き続きお客様の満足度を高めるべく、さまざまな商品提案を行いました。11月に全国発売いたしました四大添加物不使用の「7種の魚介醤油らーめん」は一杯374キロカロリーとラーメンとしては低いカロリーであることも評判となり、発売開始3か月で200万食を突破するなど、当初想定を大きく上回る販売数量で推移しております。また、新春用に11月より予約販売いたしました無添加「おせち料理」は早期に完売し、過去最高の売上高となりました。

さらに、年末年始は寒波に見舞われたものの、「お持ち帰りフェア」の実施により、持ち帰り寿司が好調な売れ行きとなり、リニューアルしたセットメニューの販売が好調に推移いたしました。

販売促進面では、11月には「極上まぐろV Sかにフェア」、12月には恒例「豪華かにフェア」の開催に合わせ人気アニメ「イナズマイレブン」とタイアップし、オリジナルグッズの提供に加え、「くら寿司でDS」におきましてオリジナルキャラクター及びオリジナルゲームの配信を行いました。1月には「極上本まぐろフェア」を開催し、「極旨本まぐろ大とろたっぷり(1貫210円)」など本マグロを提供させていただき、お客様にご好評いただきました。

また、店舗開発につきましては、西日本地区で2店舗、東日本地区で2店舗の計4店舗を新規出店し、米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」の7店舗を加え、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で319店舗(「無添蔵」4店舗含む)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高210億44百万円、営業利益9億86百万円、経常利益11億37百万円、四半期純利益は6億13百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は334億28百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金49億8百万円、有形固定資産180億57百万円であります。

負債につきましては、135億33百万円となりました。主な内訳は、買掛金31億91百万円、未払金28億76百万円、リース債務28億44百万円であります。

純資産につきましては、198億94百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金155億51百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前期末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より連結決算に移行しております。

連結業績予想につきましては、平成25年3月8日公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間より、Kula Sushi USA, Inc. の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,908,793
原材料及び貯蔵品	348,394
その他	799,282
流動資産合計	6,056,470
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	11,151,858
その他(純額)	6,905,600
有形固定資産合計	18,057,459
無形固定資産	
投資その他の資産	1,094,036
長期貸付金	3,383,574
差入保証金	3,582,218
その他	1,254,305
投資その他の資産合計	8,220,098
固定資産合計	27,371,593
資産合計	33,428,064
負債の部	
流動負債	
買掛金	3,191,968
1年内返済予定の長期借入金	350,000
未払金	2,876,829
未払法人税等	439,153
その他	1,927,579
流動負債合計	8,785,531
固定負債	
長期借入金	550,000
リース債務	2,844,268
資産除去債務	1,069,866
その他	283,731
固定負債合計	4,747,867
負債合計	13,533,399
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,005,329
資本剰余金	2,334,384
利益剰余金	15,551,857
自己株式	△29
株主資本合計	19,891,542
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	3,123
その他の包括利益累計額合計	3,123
純資産合計	19,894,665
負債純資産合計	33,428,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
売上高	21,044,680
売上原価	9,700,981
売上総利益	11,343,698
販売費及び一般管理費	10,357,501
営業利益	986,196
営業外収益	
受取利息	16,096
受取手数料	59,512
為替差益	75,897
物販収入	58,319
雑収入	5,049
営業外収益合計	214,874
営業外費用	
支払利息	19,156
物販原価	39,261
雑損失	4,855
営業外費用合計	63,273
経常利益	1,137,797
特別損失	
固定資産除却損	2,934
店舗閉鎖損失	54,704
特別損失合計	57,639
税金等調整前四半期純利益	1,080,158
法人税、住民税及び事業税	404,063
法人税等調整額	62,422
法人税等合計	466,486
少数株主損益調整前四半期純利益	613,671
四半期純利益	613,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	613,671
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	3,123
その他の包括利益合計	3,123
四半期包括利益	616,794
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	616,794
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。